

ビジネス情報

教科	商業	単位数	2	学科・学年・コース	総合ビジネス科2年生 (進学クラス)
使用教科書	「ビジネス情報」(実教出版)		副教材等	情報処理検定模擬試験問題集1級等	

◇ 学習の到達目標 ◇

- ①ソフトウェアを利用したビジネスの情報システム開発についての理解を深めます。
- ②コンピュータを活用し、業務に対する創造的な能力と態度を身に付けます。

◇ 科目の特色 ◇

「ビジネス情報」は、表計算やデータベースのソフトウェアを用いて、ビジネスで活用できる情報を収集し処理する実践的な学習を行います。

月	単元名	主な学習活動
4 5	1. ビジネスと情報 2. 情報通信ネットワークの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスと情報の関係やコンピュータ設備の構成などを理解する。 ・システムの構築や管理に関する基礎的な知識・技術を習得する。 ・セキュリティ管理やデータ管理の意義と役割を学習する。
6 7	3. 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアを利用して、目的別に集計するために必要な知識や技術を習得する。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】 【前期期末考査】</p>
8 10	4. データベースソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの特徴や基本的な機能について理解する。 ・関数を利用した報告書の作成など、データベースの実践的な活用のための知識や技術を習得する。
11 3	5. ソフトウェアを活用したシステム開発	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発の開発手法についての基礎的な知識を理解する。 ・マクロ機能を用いた開発の基礎を習得する。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】 【後期期末考査】</p>

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について関心を持ち、データを適切に分析、処理し意欲的に学習に取り組むことができるか。
思考・判断・表現	具体的なデータを用いて実習で処理された情報を分析し判断できるか。
技能	表計算やデータベースなど適切なソフトウェアを用いて、ビジネスの現場で活用できる加工処理やレポート処理ができるか。
知識・理解	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解することができるか。情報を処理する実践的な知識と技術を身に付けられるか。

このため、具体的には次のものを対象にします。

- ①授業中における学習態度
- ②課題等への取り組み状況
- ③定期考査
- ④検定試験
- ⑤休暇中の課題と課題テスト

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

授業は、講義形式と実習形式の両方で行います。実習では、各種ビジネスアプリケーションソフトを使い、企業情報を加工処理し、経営に役立てることを学びます。